

平成 2 7 年度事業報告書

自 平成27年 4月 1日
至 平成28年 3月31日

本会が当地域の福祉ニーズに応え、介護を要する高齢者などが住み慣れた地域で在宅生活を維持できるよう、介護保険サービスを「地域福祉を推進するための中心的な活動」と位置づけ提供を始めてから16年（事業参入：平成12年4月）が経過し、自治体からの補助金や事業受託金を基にした経営財源は、介護保険などの制度事業による収入へと大きく移り変わりました。

この間、社会情勢は大きく変わり続け、江差町でも人口の流出や少子高齢化が急速に進行し、高齢の独居・夫婦世帯や認知症高齢者の増加、世帯規模の縮小、地域の相互扶助機能の低下が顕著になり、同時に公共交通機関の縮小や小売商店等の減少なども顕著になりました。

本年度は、団塊の世代が75歳以上となる平成37（2025）年に向けた「地域包括ケアシステム」構築の取り組みが国をあげて始まり、介護保険は制度、報酬が大きく改定され、本会の介護保険を中心とした経営は、平成22年度から平成24年度までの3年続いた赤字決算を平成25年度に一度歯止めを掛けることが出来ましたが、本年度は平成26年度に引き続き大きな赤字決算となりました。

介護保険制度の大きな改定や利用者の在宅から施設への住み替え、他事業所への利用者の分散等、厳しい経営環境におかれ続け、介護保険事業を「地域福祉を推進するための中心的な活動」と位置づけ活動が続けている本会は、今後の活動の方向と経営財源の確保について検討する必要に迫られております。

1. 会務報告

(1) 評議員会

第79回評議員会（平成26年度事業報告・収支決算報告）

平成27年 5月23日 江差町老人福祉センター

第80回評議員会（平成28年度事業計画・収支予算）

平成28年 3月26日 江差町老人福祉センター

(2) 理事会

第1回 平成27年 4月22日 江差町老人福祉センター

第2回 平成27年 5月21日 江差町老人福祉センター

第3回 平成28年 2月10日 江差町老人福祉センター

第4回 平成28年 3月23日 江差町老人福祉センター

(3) 監事会

第1回 平成27年 5月 7日 江差町老人福祉センター

第2回 平成27年 9月16日 江差町老人福祉センター

第3回 平成27年12月15日 江差町老人福祉センター

第4回 平成28年 3月16日 江差町老人福祉センター

(4) 役員協議会

第1回 平成28年 3月 4日 江差町老人福祉センター

2. 介護保険・障がい者自立支援事業所の活動

介護保険制度事業所を3事業3事業所〔居宅介護支援事業（えさし社協居宅介護支援事業所）・訪問介護事業（えさし社協ヘルパーステーション）・通所介護事業（えさし社協デイサービス「まるやま」）〕、障がい者自立支援事業所を1事業1事業所（訪問介護事業所併設）とし、介護認定者、障がい者への在宅サービスを提供してまいりました。

サービスを提供するにあたっては、地域福祉を推進する立場を堅守し、いたずらに営利を追及するのではなく、地域に根ざした社協としてこれまで培ってきた経験を生かし、利用者の「在宅で自立した生活を続けたい」との気持ちを大切に、事業所間の連携を密にしたサービスの提供に努めておりますが、江差町内には施設サー

ビスや在宅サービスを提供する介護保険事業所が多く、利用者が分散する傾向が顕著となり、更に、認定を受けると施設入所を希望する利用者も多いことや制度や報酬の改定により極めて厳しい経営環境に置かれ続けています。また、非常勤（パート）職員の確保についても難しく、募集（ハローワーク、新聞折り込みチラシ）を出しても全く問合せがなかったり、問合せだけで就業に結びつかない状況が続いています。

- (1) 居宅介護支援事業所 えさし社協居宅介護支援事業所 ケアマネジャー 3名
 車輛 3 台（普通車 2 台・軽自動車 1 台）

利用者の福祉ニーズの把握、地域、行政、医療機関、各サービス提供事業所などと連携を図りながら、個別の生活支援サービス体制を図るため、ご本人の意思を尊重した介護計画（ケアプラン）を作成しながら、ご本人やそのご家族に対し情報の提供や相談にも迅速に対応し、また、要支援認定者の予防介護計画作成に積極的に取り組んでまいりました。

要介護度別利用者数の推移 (単位：人)

要介護度別	平成 2 5 年度末		平成 2 6 年度末		平成 2 7 年度末	
要 支 援	1 6	14.2%	2 0	21.7%	2 6	26.0%
要 介 護 1	4 1	36.6%	2 6	28.3%	3 2	32.0%
要 介 護 2	2 7	24.1%	2 5	27.2%	1 9	19.0%
要 介 護 3	1 7	15.2%	1 0	10.9%	1 4	14.0%
要 介 護 4	6	5.4%	8	8.7%	6	6.0%
要 介 護 5	5	4.5%	3	3.2%	3	3.0%
合 計	1 1 2	100.0%	9 2	100.0%	1 0 0	100.0%

要介護度別サービス提供回数の推移 (単位：回)

要介護度別	平成 2 6 年度		平成 2 7 年度		平成 2 7 年度－平成 2 6 年度	
	延回数	月 平均 回数	延回数	月 平均 回数	延回数	月 平均 回数
要 支 援	2 1 6	1 8. 0	3 0 1	2 5. 1	8 5	7. 1
要 介 護 1	3 9 2	3 2. 7	3 5 0	2 9. 2	△ 4 2	△ 3. 5
要 介 護 2	2 9 5	2 4. 6	2 5 2	2 1. 0	△ 4 3	△ 3. 6
要 介 護 3	1 6 1	1 3. 4	1 4 5	1 2. 1	△ 1 6	△ 1. 3
要 介 護 4	9 2	7. 7	8 9	7. 4	△ 3	△ 0. 3
要 介 護 5	6 3	5. 2	3 5	2. 9	△ 2 8	△ 2. 3
合 計	1, 2 1 9	1 0 1. 6	1, 1 7 2	9 7. 7	△ 4 7	△ 3. 9

- (2) 訪問介護事業所・障がい者居宅介護事業所 えさし社協ヘルパーステーション ヘルパー 9 名
 車輛 8 台（ワゴン車 1 台・軽自動車 5 台・普通車 2 台）

訪問介護事業所では、2つの制度事業を担い、長年培ってきたノウハウを活かしながら営利を追求するだけの過剰なサービスの提供を控え、行政、医療機関、各サービス提供事業所などと連携しながら、在宅で自立した生活を送るためのサービスの充実を図りながら提供に努めてまいりました。

本年度は、要支援認定者が微増となりましたが、介護認定者へのサービスが大幅に減減し、更に、障がい者居宅介護事業所のサービス提供数も減となっています。

介護保険制度・障がい者自立支援制度・その他事業認定者別利用者数の推移 (単位：人)

要介護度別	平成 2 5 年度末		平成 2 6 年度末		平成 2 7 年度末	
要 支 援	1 0	20.0%	1 0	25.0%	1 3	31.7%
要 介 護 1	1 7	34.0%	1 3	32.5%	1 2	29.3%
要 介 護 2	1 1	22.0%	1 1	27.5%	6	14.6%
要 介 護 3	7	14.0%	1	2.5%	5	12.2%
要 介 護 4	2	4.0%	3	7.5%	3	7.3%
要 介 護 5	3	6.0%	2	5.0%	2	4.9%

合 計	50	100.0%	40	100.0%	41	100.0%
障がい者居宅介護	6	-	4	-	3	-
自立認定者訪問介護	-	-	-	-	1	-
総 計	56	-	44	-	45	-

介護保険制度・障がい者自立支援制度・その他事業認定者別サービス提供回数の推移 (単位:回)

要介護度別	平成26年度		平成27年度		平成27年度－平成26年度	
	延回数	月平均回数	延回数	月平均回数	延回数	月平均回数
要 支 援	879	73.2	925	77.1	46	3.9
要 介 護 1	1,446	120.5	1,725	143.7	279	23.2
要 介 護 2	2,707	225.6	1,568	130.7	△1,139	△94.9
要 介 護 3	1,445	120.4	416	34.7	△1,029	△85.7
要 介 護 4	768	64.0	358	29.8	△410	△34.2
要 介 護 5	195	16.3	163	13.6	△32	△2.7
合 計	7,440	620.0	5,155	429.6	△2,285	△190.4
障がい者居宅介護	475	39.6	240	20.0	△235	△19.6
自立認定者訪問介護	-	-	34	2.8	34	2.8
総 計	7,915	659.6	5,429	452.4	△2,486	△207.2

介護保険事業サービス種類別提供回数の推移 (単位:回)

サービス種類別	平成26年度		平成27年度		平成27年度－平成26年度	
	延回数	月平均回数	延回数	月平均回数	延回数	月平均回数
身 体 介 護	1,159	96.6	920	76.7	△239	△19.9
生 活 援 助	3,263	271.9	2,212	184.3	△1,051	△87.6
身 体・生 活	1,502	125.2	742	61.8	△760	△63.4
通院等乗降介助	637	53.1	356	29.7	△281	△23.4
予 防 介 護	879	73.2	925	77.1	46	3.9
合 計	7,440	620.0	5,155	429.6	△2,285	△190.4

障がい者自立支援サービス種類別提供回数の推移 (単位:回)

要介護度別	平成26年度		平成27年度		平成26年度－平成25年度	
	延回数	月平均回数	延回数	月平均回数	延回数	月平均回数
身 体 介 護	239	19.9	127	10.6	△112	△9.3
通院介助(身体介護併用)	45	3.8	51	4.2	6	0.4
家 事 援 助	191	15.9	62	5.2	△129	△10.7
合 計	475	39.6	240	20.0	△235	△19.6

- (3) 通所介護事業所 えさし社協デイサービス「まるやま」 在宅型総合福祉施設「まるやま」内開設
 利用定員 35名 小型バス1台(リフト付) ワゴン車3台(リフト付)
 デイサービス利用者のみならず、同居介護者の負担軽減も考え合わせながら過剰なサービスを避け、利用者の自立する意欲を奪うことのないよう配慮しながらサービスの提供に努めてまいりました。
 本事業では、体調などにより突発的に休まれる利用者、介護者の負担軽減のための短期施設入所(ショートステイ)の利用も多く、安定した利用者確保が大きな課題となると同時に、本年度は大きな影響を受けませんでした。インフルエンザやノロ・ロタ等の感染性胃腸炎によりサービス利用が大きく減少することがあることから、感染力の強い疾病への対応強化を求められ続けています。
 また、他事業所のデイサービスに利用者が分散する傾向が顕著となり、利用者並びにサービス提供回数に大幅な減少傾向がみえることから、施設や設備の利用方法見直しによる更なる経費の削減や事業展開についての検討が必要となっております。

要介護度別利用者数の推移

(単位：人)

要介護度別	平成25年度末		平成26年度末		平成27年度末	
要支援	11	11.2%	14	18.0%	26	29.9%
要介護1	32	32.7%	20	25.6%	31	35.6%
要介護2	33	33.7%	26	33.3%	18	20.7%
要介護3	16	16.3%	11	14.1%	9	10.3%
要介護4	4	4.1%	5	6.4%	2	2.3%
要介護5	2	2.0%	2	2.6%	1	1.2%
合計	98	100.0%	78	100.0%	87	100.0%

要介護度別サービス提供回数の推移

(単位：回)

要介護度別	平成26年度		平成27年度		平成27年度－平成26年度	
	延回数	月平均回数	延回数	月平均回数	延回数	月平均回数
要支援	515	42.9	1,288	107.3	773	64.4
要介護1	2,281	190.0	2,864	238.7	583	48.7
要介護2	2,454	204.5	1,854	154.5	△600	△50.0
要介護3	1,315	109.6	1,228	102.3	△87	△7.3
要介護4	601	50.1	304	25.4	△297	△24.7
要介護5	260	21.7	178	14.8	△82	△6.9
合計	7,426	618.8	7,716	643.0	290	24.2

3. 福祉移送サービス（通院等外出支援）

介護認定者や障がいを抱える方の通院。身体の状態により自宅のお風呂を利用できない方のための施設（在宅型総合福祉施設「まるやま」・老人福祉センター）特殊浴槽を利用しての入浴のための送迎等について、車椅子をご利用の方や認知症、障がい等により行動が困難な方々を中心にサービスに務めました。

平成27年度移送実績（福祉有償運送）

(単位：回)

移送内容	平成26年度	平成27年度	平成27年度－平成26年度
病院受診のための移送	689	542	△147
施設を利用しての入浴のための移送	329	423	94
入退院のための移送	—	—	—
転院のための移送	—	—	—
その他（買い物等のための移送）	1	1	0
合計	1,019	966	△53

4. 福祉・ボランティア団体等への活動支援

町内で様々な活動を続ける福祉・ボランティア団体の活性化を図ることを目的に、指定団体への運営費について助成し支援いたしました。

計画 6団体 江差町遺族会、江差町身体障がい者福祉協会、江差地区保護司会江差支部、江差町子どもと父母の会連合会、江差手話の会、育児サポートサークル「キティ」
 助成額 1団体2万円以内 総額12万円以内
 実績 上記6団体
 助成額 1団体2万円 総額12万円

助成団体名	活動の目的
江差町身体障がい者福祉協会	身体障がい者の福祉向上を目指す当事者団体活動
江差町遺族会	戦没遺族の会
江差町子どもと父母の会連合会	町内の子ども会活動の連携と親睦、連絡調整
育児サポートサークル「キティ」	子育て中の親子の支援と孤立防止

江差地区保護司会江差支部	犯罪者更正の援助
江差手話の会	手話の普及

財 源 愛情銀行：4万円 共同募金配分金：8万円

5. 学校教育ボランティア活動等への支援

学校教育の場で行われるボランティア活動や地域とのふれあい活動に対し助成を行うことで支援しましたが、申請は1校となっております。

計 画 対象学校数 小学校3校、中学校2校、高校1校、高等看護学院1校 計7校
 助 成 額 1校2万円以内、総額8万円以内（4校以内）
 実 績 助 成 額 1校に対し各2万円、総額2万円

助 成 学 校 名	活 動 の 目 的
江差高等看護学院	ボランティアクラブ活動費への補填
	・福祉施設慰問 ・道立江差病院ロビーでのハンドベル演奏等

財 源 共同募金配分金 2万円

6. ふれあいいきいきサロン推進事業

独自財源により活動を継続する「かあちゃん食堂たまりば」（愛宕町）について、江差町内でのふれあいいきいきサロンのモデルとして運営費支援を図りました。

計 画 助 成 額 5万円
 実 績 助 成 5万円
 財 源 愛情銀行 5万円

7. 福祉サービス利用者の権利擁護

(1) 苦情解決窓口の設置について

本会の行う在宅福祉サービス事業（介護保険・障がい者自立支援事業など）に係る利用者の苦情に適切に対応し、利用者の権利を守り、満足度を高めるため、第三者委員2名、苦情解決責任者1名、苦情受付担当者2名を選任し苦情に速やかに対応する体制を整えております。

平成27年度はサービス利用者やその家族から事業所に対する苦情申立てはありませんでしたが、利用者の内包する日常的なサービス内容等についての不満があると推測できることから、事業者として更なる利用者へのサービス内容の説明や職員体制、設備整備が求められております。今後も利用者の内包する問題を早期に把握し解決するよう努めてまいります。

(2) 地域権利擁護事業・成年後見制度の周知について

① 日常生活自立支援事業 道社協事業 北海道社会福祉協議会 道南地区地域福祉生活支援センター
 （北海道社会福祉協議会桧山地区事務所内）

利用者は徐々に増えつつあり、事業が地域に周知されつつあると考えられることから生活支援員の増員が望まれ、社協として適任者の推薦を求められております。

平成27年度利用者数 12名

平成27年度末「生活支援員」登録者13名（うち実稼働9名）

利用者の内訳 認知症高齢者 8名、知的障がい者 2名、精神障がい者 2名

② 成年後見制度

所管が家庭裁判所となることから利用について把握できませんが、引続き周知に努めてまいりますと同時に、平成26年度に北海道（檜山振興局）と江差町、上ノ国町、厚沢部町、乙部町の4町が合同で市民後見人養成講座が開催され、平成27年度にはフォローアップ研修が行われておりますが、日常生活自立支援事業との併用や移行も今後の課題としてあり、また、実施機関設置等の課題もあることから、引き続き関係町村、社協との連携を深めてまいります。

8. 福祉情報の提供と相談

(1) 情報の提供

広報誌「福祉だより」をはじめ、福祉関係事業の案内、学校に対しての情報提供等に努めてまいりました。

- ① 福祉だより 年3回発行 江差町広報紙折り込み
- ② 学校への情報提供 赤い羽根共同募金活動チラシ・ポスター

(2) 心配ごと相談

日常的に介護保険事業などの制度事業に関することや生活応急資金などの制度資金に関する相談があり職員が対応してまいりました。

相談件数 介護保険事業等に関すること（日常的にあるため件数は把握していない）
経済的な相談に関すること 10件（内、生活応急資金9件、生活福祉資金1件）

9. 江差町愛情銀行（在宅福祉基金）・共同募金活動の推進

町民皆様より愛情銀行や共同募金活動について金品の協力を頂きました。

また、この一部を財源として生活応急資金の貸付を行ないました。

(1) 江差町愛情銀行

本年度預託金	90,881円	・・・①
内、指定預託	0円	
内、一般預託	90,881円	（6件）
本年度払出金	200,102円	・・・②
内、災害義援金	10,000円	（1件）ネパール地震災害
内、社協助成事業	90,000円	（3件）ふれあいいきいきサロン推進事業等
内、弔意ローソク購入	19,288円	（2件）100個、仏のし紙等
内、歳末たすけあい托鉢関係	21,654円	（2件）広報用チラシ、バス借り上げ
内、エコキャップ関係	43,960円	（8件）配送用袋購入、送料等
内、使用済み切手関係	1,160円	（1件）送料
内、その他	14,040円	（1件）愛情銀行領収書
預金利息	371円	・・・③
前年度繰越金	1,623,699円	・・・④
生活応急資金貸付	236,000円	・・・⑤
生活応急資金償還	213,000円	・・・⑥
翌年度繰越金	1,491,849円	（④+①+③-②-⑤+⑥）

預託物品 本年度預託 使用済み切手、リングブル、エコキャップ、リサイクル用衣料等102件
（1物品につき1件の換算）

本年度払出 同上102件

(2) 江差町愛情銀行（在宅福祉基金） 曹洞宗第4教区青年会 歳末托鉢による預託

本年度預託金	325,218円	・・・①
本年度払出金	2,300,000円	・・・② 移送車両（レジアスエース）購入一部
預金利息	403円	・・・③
前年度繰越金	2,711,560円	・・・④
翌年度繰越金	737,181円	（④+①+③-②）

(3) 共同募金活動

運 動 期 間 平成27年10月1日～平成27年12月31日
街 頭 募 金 1回・・・9月27日 37回江差町産業祭り（開陽丸青少年センター）
広 報 福祉だより、ポスター掲示
募 金 総 額 953,180円（平成26年度実績：993,038円）
前年度比 △39,858円 : 96.0%

募金活動方法別内訳

戸 別 募 金 訪 問	549,705円 (1,069世帯)
町内会	144,220円 (7町内会: 872世帯)
法人募金 61件	73,000円
街頭募金 1件	17,015円
学校募金 7校	59,159円
職域募金 22件	53,241円
募金箱設置協力店・団体 63件	56,440円
その他の	400円 (協賛プロスポーツグッズ寄付)

10. 生活応急資金・生活福祉資金等の貸付

(1) 生活応急資金

本会独自の貸付制度として、江差町に居住し、独立の生計を営み、他から資金融資を受けることが困難で、緊急な出費により生活困窮に陥る恐れのある生活保護世帯や生活保護申請世帯に対し、費用受給までの生活を維持するための資金として貸付を行いました。

平成27年度貸付 件数 8件 貸付総額 236,000円
財 源 本会「愛情銀行」

(2) 生活福祉資金（北海道社会福祉協議会事業）

厚生労働省の要綱に基づき他の貸付制度が利用できない低所得者や障がい者・高齢者世帯の経済的と自立と生活の安定を目指すための貸付制度として、本会では道社協より事務委託を受けその窓口として相談や申込について協力しております。

本年度は相談が1件ありましたが取り扱いはありませんでした。

(3) 特別生活資金（冬期生活資金：北海道社会福祉協議会事業）

福祉年金等を受給する高齢者や障がい者などの福祉向上を図るため、冬期の燃料費を確保する資金を必要とする世帯に対しての道社協の貸付制度の窓口として相談や申込について協力してまいりましたが、本年度の取り扱いはありませんでした。

11. 各種団体の活動

江差町町内会連合会、江差町老人クラブ連合会、江差町高齢者事業団の3団体について、専任職員1名を中心に事務・活動支援を図りました。

12. 社協の基盤整備

(1) 賛助会員・賛助会費

地域福祉推進の財源として各助成事業や情報提供に活用している賛助会費について、協力員体制がままならないことから地域内でも訪問出来ないところが増え、不公平感や不信感などがあることから戸別に訪問しての集金は行わないこととし、広報紙による広報活動を行いました。地域からの理解を得られたとは言えないものとなっています。

賛助会員・賛助会費の推移

年 度	賛 助 会 員		賛 助 会 費	
	会 員 数	前年度比	会 費 額	前 年 度 比
平成27年度	18件	12件	39,000円	24,000
平成26年度	6件	△8件	15,000円	△17,000円
平成25年度	14件	△2件	32,000円	△11,000円
平成24年度	16件	—	43,000円	—
平成11年度	1,287件	—	1,615,500円	—

(2) 設備整備

介護保険事業所の収入をもって、事業活動が滞ることのないよう、設備整備・車両修繕等に努めました。

1 3. 役職員研修並びに会議への参加

本会活動の推進ため役職員の研修を進めてまいりました。また、ここに記載する以外にも各種関係会議・研修会等への出席に努めました。

- | | | | |
|---------------------------------------|--------|-------------------|----------|
| ① 平成27年度檜山管内社協会長・事務局長会議3回 | 役職員2名 | 江差町(3回) | |
| | 平成27年 | 5月、平成27年12月、平成28年 | 3月 |
| ② 平成27年度全道市町村社協会長・事務局長会議 | 役職員2名 | 札幌市 | 平成27年6月 |
| ③ 平成27年度全道市町村社協会長会総会 | 役員1名 | 札幌市 | 平成27年6月 |
| ④ 平成27年度「安心・安全・福祉のまちづくり」渡島・檜山地区推進セミナー | | | |
| | 役職員2名 | 北斗市 | 平成27年6月 |
| ⑤ 生活支援コーディネーターと協議体に係る研修会 | 職員1名 | 函館市 | 平成27年6月 |
| ⑥ 平成27年度ホームヘルプサービス研究大会 | 職員2名 | 札幌市 | 平成27年7月 |
| ⑦ 第65回北海道社会福祉大会 | 役員1名 | 札幌市 | 平成27年8月 |
| ⑧ 平成27年度移送サービス運転協力者講習会 | 職員3名 | 函館市 | 平成27年9月 |
| ⑨ マイナンバー対策セミナー | 職員1名 | 函館市 | 平成27年9月 |
| ⑩ 平成27年度生活支援員研修会 | 職員1名 | 江差町 | 平成27年9月 |
| ⑪ 平成27年度北海道介護支援専門員更新研修 | 職員1名 | 札幌市 | 平成27年10月 |
| ⑫ 平成27年度ヘルパー協渡島・檜山地区連絡協議会資質向上研修会 | | | |
| | 職員3名 | 北斗市 | 平成27年10月 |
| ⑬ 平成27年度檜山地区「地域に理解され、支持される社協づくり」研修会 | | | |
| | 役職員10名 | 江差町 | 平成27年10月 |
| ⑭ 平成27年度全道ホームヘルプサービススキルアップ研修 | | | |
| | 職員2名 | 札幌市 | 平成27年10月 |
| ⑮ 視覚障がい者同行援護従事者養成研修 | 職員2名 | 江差町 | 平成27年10月 |
| ⑯ 檜山管内ボランティア活動研究集会 | 役職員5名 | 上ノ国町 | 平成27年10月 |
| ⑰ 安全運転管理者等法定講習 | 職員1名 | 函館市 | 平成27年11月 |
| ⑱ 平成27年度北海道障がい者虐待防止・権利擁護研修 | 職員1名 | 札幌市 | 平成27年12月 |

1 4. その他

(1) 福祉機器・テントの貸し出し

車イス・介護用ベッドを一時的に必要な方に貸し出してまいりました。また、共同募金配分金を受けながら整備した行事用テントを江差町、商工会、団体等に貸し出してまいりました。

(2) 弔意ローソクの配布

江差町民で亡くなられた方への弔意を表すため、江差町役場窓口に置き配布していただきました。

(3) 収集活動の推進

使用済切手やリングプル等の収集について周知を図り、関係団体の協力を努めました。

回収品目	協力先団体名	
使用済切手	社団法人日本キリスト教海外医療協力会	発展途上国への医療協力
リングプル	かあちゃん食堂たまりば	福祉団体等への車イス寄贈
リサイクル用衣料品等	NPO 法人南部檜山あゆみ共同作業所	ウエス加工
エコキャップ	NPO 法人エコキャップ推進協会	世界の子供へワクチン寄贈
ベルマーク	江差小学校・南が丘小学校	学校備品等整備
書き損じハガキ	空飛ぶ車イス活動	発展途上国へリサイクル車イスの寄贈

※ 使用済プリペイドカードについては、収集团体が確認できなくなったため中止といたしました。